



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名 CDS株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 2169 URL <http://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 芝崎 晶紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長

(氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5410

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	5,863	△1.3	635	△21.2	630	△20.5	196	△57.7
24年12月期第3四半期	5,937	20.7	806	35.8	792	32.4	465	30.9

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 211百万円 (△54.7%) 24年12月期第3四半期 466百万円 (32.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	29.35	—
24年12月期第3四半期	72.99	—

(注) 当社は、平成25年1月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たりの当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
25年12月期第3四半期	5,368	—	3,573	—	66.5	523.99
24年12月期	4,888	—	3,205	—	65.5	499.16

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 3,573百万円 24年12月期 3,205百万円

(注) 当社は、平成25年1月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たりの純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	2,700.00	—	3,200.00	5,900.00
25年12月期	—	16.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年1月1日を効力発生日として1株につき200株の割合をもって株式分割を行っております。なお、平成24年12月期の1株当たりの配当金については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,281	2.2	1,012	△8.7	1,006	△8.6	392	△39.3	57.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	6,924,400 株	24年12月期	6,801,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	104,000 株	24年12月期	379,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	6,706,979 株	24年12月期3Q	6,378,886 株

(注) 当社は、平成25年1月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度期首に当該分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予定に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権下での経済政策・金融緩和政策への期待感による株価上昇や、円安進行による輸出環境の改善に加え、2020年東京オリンピック招致決定といった明るい話題もあり、景況感に回復の兆しが見えてきました。一方で、この先に控える消費税増税・電力値上げなどの不安要素により個人消費は依然として節約志向が続くほか、中国および新興国の経済に停滞感がみられるなど、今後の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは、情報家電産業、産業設備・工作機械産業、自動車産業、医療機器産業などに代表される「ものづくり企業」へのサービスに特化し、ドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム開発事業を展開しております。IT技術を駆使した「ストレート・スルー・プロセッシング」を可能とする「技術情報統合マネジメント企業」を目指しており、グループ各社の多種多様な特長と強みを活かすことで、グループ内シナジーを創出し、顧客企業の製品開発から製造・販売・サービスまでのビジネスプロセスの各段階をトータルにサポートしております。

また、高度化・多様化する顧客ニーズに対し、常に最新鋭の情報技術力を駆使するとともに、当社独自の特長ある技術力を提案することで、「ものづくり企業」へのサポート体制を強化してまいりました。今後も、“提案力の強化”“高付加価値技術による他社との差別化・競争力強化”に注力し、“既存顧客の囲い込み”“新規顧客の開拓”を進めるほか、ロボットビジネスの確立をはじめとする“新規事業・新規領域の拡大”“M&Aによる規模の拡大”を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、7月にフランス共和国を拠点とするSAS METAFORM LANGUESの全発行済株式を取得し、グループ経営力のさらなる強化を図りました。METAFORM LANGUES社は、フランス各地において工業、医療、食品など様々な分野の企業の語学研修・通訳・翻訳を展開しております。同社が持つ国際的なネットワークと当社グループのコア事業であるドキュメンテーション事業のノウハウを共有することにより、顧客に対して幅広いサービスを提供することが可能となります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、ドキュメンテーション事業において顧客企業の開発計画の遅延などによる影響を受け、連結売上高5,863百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益635百万円（前年同期比21.2%減）、経常利益630百万円（前年同期比20.5%減）、四半期純利益196百万円（前年同期比57.7%減）の減収減益となりました。

なお、平成22年2月15日に導入いたしました「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」が平成25年2月28日に信託期間満了となり、分配金293百万円が発生いたしました。当第3四半期連結累計期間において、当該分配金のうち前期に計上済である18百万円を除いた274百万円を特別損失に計上したことから、当四半期純利益は前年同期を大幅に下回る結果となっております。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。）

(ドキュメンテーション事業)

ドキュメンテーション事業におきましては、多言語取扱説明書、組込み型マニュアルといった当社独自の特長ある技術により他社との差別化を図り、既存顧客の囲い込みを進めてきました。また、グループ各社との連携強化による総合力の強みを活かした新規顧客の開拓を進めたほか、多機能携帯端末向け次世代マニュアルの開発、3DCAD活用動画マニュアルの制作といった当社の強みや新技術を活かした事業領域の拡大に取り組んできましたが、顧客企業の開発計画の遅れなどにより、売上高は2,762百万円（前年同期比12.0%減）、営業利益は653百万円（前年同期比27.2%減）となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業におきましては、株式会社バイナスを中心に、独自のロボット・FAシステムを軸とした販路の拡大、高収益化、グループ各社との人材交流による他社と差別化できる技術系要員の育成に取り組んできた結果、売上高は1,009百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益は177百万円（前年同期比48.0%増）と、前年同期に比して大きく伸ばいたしました。

(技術システム開発事業)

技術システム開発事業におきましては、コア技術を活かした新ビジネス・オリジナル商品の創生による業務拡大、既存事業の付加価値向上による利益率改善と信頼性の向上、事業拡大に向けた体制整備、顧客パートナーとの連携強化に取り組んできた結果、売上高は2,125百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は189百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より479百万円増加し、5,368百万円となりました。内訳は、流動資産が3百万円減少の3,630百万円、固定資産が483百万円増加の1,738百万円であります。

流動資産の変動の主な要因は、現金及び預金で318百万円の減少があった一方、受取手形及び売掛金・電子記録債権で62百万円、仕掛品で85百万円、「その他（主に未収還付法人税等）」で113百万円の増加があったこと等であります。

また、固定資産の変動については、有形固定資産が515百万円増加した一方、のれんの償却等により「のれん」が16百万円減少したこと等であります。

なお、有形固定資産の増加は、国内連結子会社の新工場建設のための土地の取得、建設仮勘定の増加によるものであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末より111百万円増加し、1,794百万円となりました。内訳は、流動負債が155百万円増加の1,729百万円、固定負債が44百万円減少の64百万円であります。

流動負債の変動の主な要因は、短期借入金が207百万円、賞与引当金が174百万円の増加があった一方、未払法人税等が213百万円減少したこと等であります。

また、固定負債の変動は主に、「その他（主に長期未払金）」が45百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は3,573百万円であり、前連結会計年度末より368百万円増加しております。その主な要因は、新株予約権の権利行使によって資本金と資本剰余金（資本準備金）がそれぞれ46百万円増加したこと、CDS従業員持株会専用信託所有の自己株式の売却が進んだことで、自己株式が61百万円減少し、資本剰余金（自己株式処分差益）が214百万円増加したこと等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想については、平成25年2月14日付で発表いたしました業績予想数値を変更しております。詳細につきましては、本日（平成25年11月12日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、様々な要因により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,198,177	879,502
受取手形及び売掛金	1,636,675	1,789,049
電子記録債権	402,779	312,520
商品及び製品	21,080	74,973
仕掛品	140,291	225,411
原材料及び貯蔵品	13,426	14,179
その他	223,224	336,448
貸倒引当金	△1,908	△1,838
流動資産合計	3,633,747	3,630,246
固定資産		
有形固定資産	347,407	863,302
無形固定資産		
のれん	517,555	501,248
その他	161,720	158,494
無形固定資産合計	679,276	659,742
投資その他の資産		
その他	240,292	227,319
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	228,342	215,369
固定資産合計	1,255,026	1,738,414
資産合計	4,888,774	5,368,661
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	356,039	486,160
短期借入金	263,000	470,000
1年内返済予定の長期借入金	777	1,347
未払法人税等	213,937	—
賞与引当金	110,266	284,840
受注損失引当金	5,637	6,663
未払金	362,913	283,862
従持信託分配引当金	18,970	—
その他	242,499	196,976
流動負債合計	1,574,041	1,729,851
固定負債		
長期借入金	3,001	2,731
退職給付引当金	17,682	18,917
資産除去債務	2,414	2,446
その他	86,032	40,855
固定負債合計	109,130	64,951
負債合計	1,683,172	1,794,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	893,682	940,327
資本剰余金	910,522	1,171,768
利益剰余金	1,482,452	1,467,528
自己株式	△86,507	△25,436
株主資本合計	3,200,150	3,554,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,700	4,929
為替換算調整勘定	2,751	14,741
その他の包括利益累計額合計	5,451	19,670
純資産合計	3,205,601	3,573,858
負債純資産合計	4,888,774	5,368,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,937,588	5,863,011
売上原価	3,916,811	3,967,134
売上総利益	2,020,776	1,895,877
販売費及び一般管理費	1,213,864	1,260,092
営業利益	806,912	635,785
営業外収益		
受取利息	290	335
受取配当金	287	330
助成金収入	1,441	—
その他営業外収益	3,013	1,947
営業外収益合計	5,032	2,613
営業外費用		
支払利息	2,900	2,071
支払融資手数料	3,395	3,361
支払手数料	334	1,790
為替差損	407	793
上場関連費用	12,000	—
その他営業外費用	449	91
営業外費用合計	19,487	8,108
経常利益	792,457	630,289
特別損失		
固定資産除却損	1,237	456
従持信託分配金	—	274,088
その他特別損失	45	—
特別損失合計	1,282	274,544
税金等調整前四半期純利益	791,174	355,745
法人税、住民税及び事業税	371,250	187,229
法人税等調整額	△45,683	△28,400
法人税等合計	325,566	158,828
少数株主損益調整前四半期純利益	465,608	196,916
四半期純利益	465,608	196,916

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	465,608	196,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	731	2,229
為替換算調整勘定	△183	11,989
その他の包括利益合計	547	14,218
四半期包括利益	466,156	211,134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	466,156	211,134
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

第1四半期連結会計期間において、新株予約権の行使に伴う新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ46,645千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間において、従持信託にかかる自己株式の処分により、その他資本剰余金(自己株式処分差益)が214,600千円増加し、自己株式が61,070千円減少しております。これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は940,327千円、資本剰余金は1,171,768千円、自己株式は△25,436千円となっております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,140,072	864,883	1,932,632	5,937,588	—	5,937,588
セグメント間の内部売上高又は振替高	756	7	19,575	20,338	(20,338)	—
計	3,140,829	864,890	1,952,207	5,957,927	(20,338)	5,937,588
セグメント利益	896,887	119,945	169,171	1,186,005	(379,093)	806,912

(注) 1. セグメント利益調整額△379,093千円には、セグメント間取引消去7,255千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△386,348千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,755,271	1,006,984	2,100,756	5,863,011	—	5,863,011
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,575	2,563	24,570	34,708	(34,708)	—
計	2,762,846	1,009,547	2,125,326	5,897,720	(34,708)	5,863,011
セグメント利益	653,096	177,534	189,920	1,020,551	(384,766)	635,785

(注) 1. セグメント利益調整額△384,766千円には、セグメント間取引消去6,314千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△391,081千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間より、SAS METAFORM LANGUESが連結の範囲に加わっており、報告セグメントでは「ドキュメンテーション事業」に含めております。SAS METAFORM LANGUESの株式取得により発生したのれんの額は18,830千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。